

評価会議（平成 28 年度中間）における委員の評価及び意見

受託者に対する評価

1 項目ごと評価

項目		A委員	B委員	C委員
地域活動協議会の現在の状況についての分析 (配点 15 点)		10	9	13
画) 企画提案 の内容 (事業計	事業の実施内容（支援策（取組）の内容) (配点 20 点)	14	16	15
	事業の実施体制等 (配点 15 点)	10	12	14
	今年度の重点支援策（取組） (配点 10 点)	7	8	7
支援策（取組）の実施状況 (配点 40 点)		30	30	30

主な意見等

- ・地活協の自律のあるべき姿を共有し現状とのギャップを分けてした方がよい
- ・このはな放送局など工夫した支援策は評価される
- ・防災に関してはPTAとの協働もすすみつつある点が評価できる

2 総合評価

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価	B	B	B

主な意見等

- ・地域へのアンケートを詳細分析し、支援策の検討を行っている点は評価される
- ・プロボノの活用については、地域の人材にも目をむけて発掘してほしい
- ・地域との信頼関係は構築できている
- ・地域の「プレーヤー」を見つけ、その方々のモチベーションを上手に支え、自発的な動きが増えていくようサポートし続けていってください。
- ・自立に向けて支援するためには、地活協の雰囲気や運営形態を変えていく戦略が必要。井戸端会議やFacebookはそのきっかけにできるはず。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
A：本市の求める水準以上の効果が得られた
B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
C：本市の求める水準の効果が得られていない